

グランドカバー最適草種

ユリ科ヤブラン属

NAGABANA YABURAN

長花ヤブラン

長花ヤブラン

品種登録出願中

施工費・維持管理費の労力軽減と工事能力向上を両立 簡単な作業で効率的な地被緑化を実現

地被緑化に使用されるリュウノヒゲ族ならびにヤブラン属を大量生産するための方法を確認した実生苗（種子から発芽して育った苗）です。

従来品種のポット苗植付工より低コストでの施工が可能で、一度繁茂してしまえば年中美観を維持できることから、面倒な維持管理が軽減されます。

BEAUTY, ECONOMY AND HIGH EFFICIENCY

特性（従来のヤブランとの比較）

葉群の高さは約40cm、株の最大幅50cm、葉の長さ45cm、葉の幅15～28cm。花茎の長さは、80～100cm、花序の長さ35～50cm。

たいへんボリュームのある、見応えのする草種です。

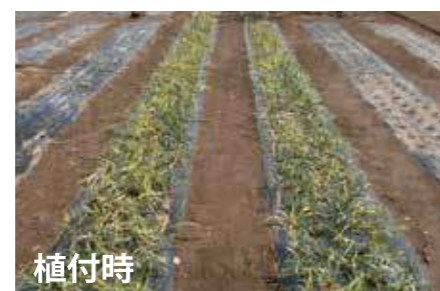
よって1㎡あたりの植付けポット数も少なく済み（9pot/㎡）、従来のポット苗植付工と比較すると安価に施工ができ、コスト削減につながります。

生育が旺盛なため、植被率100%になるスピードも早く（約1年程度）、遮光率も高いことにより一度繁茂してしまえば雑草の生育を押さえ、維持管理が軽減されます。

花期は6月から9月にわたり、長い期間花を咲かせます。長い花茎により修景・観賞用に最適です。

花は、葉の間から花茎をたくさん伸ばし、小さな淡紫の花が穂状に咲きます。花序の中の小花は、多くの方々が興味を引かれ、特に女性にたいへん人気があります。

秋には、黒紫色の種子が成熟します。



植付時



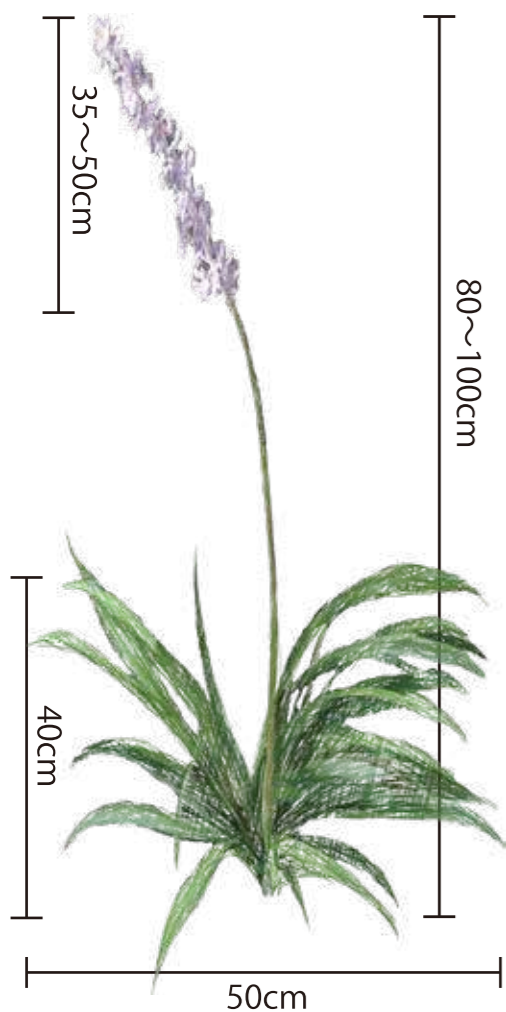
1年後



開花



小花



使用用途

公園緑地、ビル・スポーツ施設の外構、庭園、道路沿線や中央分離帯・路肩、樹林緑地化、屋上緑化、壁面緑化、芝生に代わる緑化、その他非常に広い範囲でご使用いただけます。

実生苗とは … 種子から発芽して育った苗

実生苗は、株分け苗と比較すると寿命が長く強健であり、環境適応能力が著しく、成育が旺盛です。また、病気や暑さ・寒さに強く丈夫で育てやすいことも特徴です。草姿バランスもよく、根系はよく発達しており、特に直根の発達が良好であり、緑化における活着率は高いです。また、土壌を選ばず病害虫に非常に強いのも特徴です。

地被緑化材料費比較表（平地の場合）100㎡あたり

名称	単位	長花ヤブラン				従来工法ヤブラン			
		数量	単価	金額	摘要	数量	単価	金額	摘要
造園工	人	-	19,300	-		0.7	19,300	-	
世話役	人	-	21,700	-		2.8	21,700	-	
普通作業員	人	-	16,900	-		3.0	16,900	-	
従来工法ヤブラン	株					4,400	220	968,000	
長花ヤブラン	株	900	350	315,000					
計				315,000				968,000	
1m ² あたり				3,150				9,680	

※植付株数等の違いにより、労務歩掛は別途考慮する

既存工法との比較

	長花ヤブラン	リュウノヒゲ	シバザクラ	従来工法ヤブラン
m ² 辺り必要量	9pot	44pot	44pot	44pot
m ² 辺り材工費	¥3,400-	¥7,920-	¥8,800-	¥11,000-
施工難易度	低い	高い	高い	高い
遮光性	高い	中程度	低い	中程度
グランドカバー性	高い	高い	高い	高い
雑草	生えにくい（高遮光性）	やや生えにくい	生えやすい	生えやすい
維持管理	繁茂後はほとんど不要	年数回管理が必要	定期管理が必要	年数回管理が必要

※1年目はいずれの花種でもメンテナンスが必要

維持管理について（雑草の様子）

従来工ヤブラン（1年後）



長花ヤブラン（1年後）



会社概要

会社名 福田土木造園株式会社

代表取締役 福田 広美

設立 昭和55年2月7日

資本金 30,000,000円

本社所在地 320-0055 栃木県宇都宮市下戸祭 1-8-13

電話番号 028-625-1901

FAX 番号 028-625-1922

URL <http://f-dobokuzouen.co.jp/>

メールアドレス f-dobokuzouen@if-n.ne.jp

営業内容 土木造園の設計・施工・管理、スポーツグラウンド・

運動場・ゴルフ場の設計、施工

各種芝生の販売・植付、緑化・造園用樹木の生産・販売 他